



龍吟守



雲霞を新新橋の

ほとり ちりほり

大層のみきいオナ所に

築城柱ろ 半舟一亭あり

特のと平場島の浮葉

あいに里島木をかきみし

四柱と外道をゆきしと雨を流す

物さす新こ生雁一葉の舟を

いのちをあはれふそいとしさあし

一日道なきの物あはれいとし

又耕果罪能ある子 かんせり

尚すゝの人 斗酒を飲へ せききりるに

解舟をまじし舟 物をよのむ酔中

梅とりのへ沈ちるふは相舟と縦横尔

さ ちりえ蓮花並けの君子あはれ

杜若子飲らるのや 人もあはれをわ

信存を教り 鶴に礫する者

あはれ 鶴鶴 危しをくすまの村ら

有興 途なき 二あまのいしお

